

2015. 2. 25

Voyager Therapeutics 社とジェンザイム社が中枢神経系 (CNS) 疾患患者さんのための新しいアデノ随伴ウイルス (AAV) 遺伝子治療の開発および販売での重要な戦略的提携を発表

2015. 2. 25

本資料は、2015 年 2 月 11 日 (米国時間) にジェンザイム社が発表したプレスリリースを翻訳・編集したものです。原文 (英文) と翻訳に相違がある場合には、その内容および解釈については原文が優先します。原文 (英文) は、ジェンザイム社のサイト (www.genzyme.com) からご覧いただくことができます。

2015 年 2 月 11 日 (米国時間) ジェンザイム社プレスリリース

サノフィ・グループの一員である Genzyme (サノフィ社 (EURONEXT : SAN および NYSE : SNY) の一員 ; 以下、ジェンザイム社) は本日、致命的で消耗性の中枢神経系 (CNS) 疾患に対する画期的な遺伝子治療を開発する Voyager Therapeutics 社とジェンザイム社が、重度の CNS 疾患を対象とした新しい遺伝子治療の探索、開発および販売において、重要な戦略的提携を行うことを発表しました。この提携では、アデノ随伴ウイルス (AAV) 遺伝子治療の分野におけるジェンザイム社の長年のコミットメントおよび科学面での主導的立場と、重度の CNS 疾患患者さんのための画期的な治療法を開発する Voyager 社の業界をリードする AAV 技術を活用します。

この提携は、パーキンソン病・フリードライヒ運動失調症・ハンチントン病・他の CNS 疾患など複数の遺伝子治療プログラムにわたります。各プログラムは重度の消耗性疾患を対象とし、患者さんに症状改善効果をもたらす可能性があります。提携によって創出されるポートフォリオは、両社のプログラムと知的財産を合わせたものとなります。

Voyager 社は、ジェンザイム社と積極的に協力してすべてのプログラムの研究開発活動を推し進めていきます。ジェンザイム社は、患者さんを対象とした早期 POC 臨床試験の完了後、複数のプログラムの選択権を行使できます。ただし Voyager 社は、パーキンソン病 (VY-AADC01) およびフリードライヒ運動失調症 (VY-FXN01) における主要な製品プログラムにおいて、米国でのすべての権利を保持します。Voyager 社は、ハンチントン病プログラム (VY-HTT01) については、ジェンザイム社と米国での利益を分割します。さらに、Voyager 社の主要な筋委縮性側索硬化症 (ALS) プログラム (VY-SOD101) はこの提携には含まれておらず、このプログラムの全世界の権利は Voyager 社が保持しています。

ジェンザイム社は Voyager 社に対し、1 億ドルを先行投資します。このうち 6500 万ドルは現金、3000 万ドルは Voyager 社株投資と追加の現物出資となります。Voyager 社は、将来的に開発および営業目標達成に伴う最大 7 億 4500 万ドルまでのマイルストーンと、製品売上に応じたロイヤルティを受け取る権利があります。

Voyager 社の社長兼 CEO、Steven Paul 医学博士は、次のように話しています。「力を合わせることで、Voyager 社とジェンザイム社は、遺伝子治療の可能性を CNS 疾患の革新的な治療へと変える最先端企業となります。この治療法は、患者さんの「人生」を有意義なものに変えることができます。Voyager 社はバイオ技術業界における遺伝子治療の先駆者と提携できることを光栄に思います。当社の主要プログラムの開発が進展するだけでなく、新しい治療を必要としている新しい CNS 疾患へと当社のパイプラインを拡大できます。この戦略的提携により、当社の製品パイプラインを拡大するための開発推進に大きな資金が提供されると同時に、Voyager 社は独立企業として前進し続けることができます。」

ジェンザイム社の社長兼 CEO である David Meeker は、次のように述べています。「私たちはこれまで 20 年以上遺伝子治療に携わってきました。消耗性疾患の患者さんの生活を変えることができると確信しているため、引き続きこの分野に精力的に取り組んでいきます。遺伝子治療分野は過去数年間で急速に進展しており、科学もこれまでにないほど進歩しています。Voyager 社という素晴らしいパートナーと力を合わせることで、一連の非常に困難な神経疾患を克服する取り組みを強化し、加速させることができます。」

グッドウィン・プロクター法律事務所が Voyager 社の法律顧問となります。

サノフィ・グループの一員であるジェンザイム社について

ジェンザイム社は、30 年以上にわたり、希少消耗性疾患を有する患者さんの生活に変化をもたらす治療法の開発および供給における草分け的存在です。当社は、世界最高水準の研究ならびに当社従業員の熱意および献身により、目標を達成しています。当社は、希少疾患および多発性硬化症に焦点を置き、患者さんおよびその家族の生活をよくすることを目標とし、この目標を日々の指針および励みとしています。ジェンザイム社のポートフォリオは、世界中の国々で市販され、患者さんの変化をもたらす治療法であり、画期的で人命を救う医学の進歩を示しています。ジェンザイム社は、サノフィ・グループの一員として、世界最大級の製薬会社の規模と資源を活かし、共に患者さんの生活の質の向上に取り組んでいます。詳細につきましては、www.genzyme.comをご覧ください。

Voyager Therapeutics 社について

Voyager Therapeutics 社は、中枢神経系 (CNS) の致死的で消耗性の疾患に対して、画期的な治療を開発している遺伝子治療企業です。Voyager 社はベクターの最適化とエンジニアリングへの技術革新と投資、投薬と投与法の技術、プロセス開発と生産により、AAV (アデノ随伴ウイルス) 遺伝子治療分野を進展させることに尽力しています。同社のパイプラインは、パーキンソン病、単一遺伝子形態の筋委縮性側索硬化症 (ALS)、フリードライヒ運動失調症およびハンチントン病など、効果的な新しい治療を緊急に必要としている CNS 疾患に重点を置いています。AAV 遺伝子治療、遺伝子発現 RNA 干渉および神経科学の分野における科学・臨床リーダーが設立した Voyager Therapeutics 社は、有数のライフサイエンス投資者である Third Rock Ventures 社から資金提供を受け、2014 年に事業を開始しました。本社はマサチューセッツ州ケンブリッジにあります。詳細な情報については、<http://www.voyagertherapeutics.com/>をご覧ください。

サノフィ社の将来予想に関する記述

当プレスリリースには、1995 年改正民事証券訴訟改革法に定義される将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述は、歴史的事実を述べるものではない記述です。これには、見通しと予測ならびにそれらの基礎となる将来の業績、事象、事業、サービス、製品開発および可能性に関する計画、目標、意図および予想とともに、将来の業績に関する記述が含まれます。将来予想に関する記述は、一般に、「期待」「見込み」「予定」「予測」「計画」などの表現により識別されます。サノフィ社の経営陣は、そのような将来予想に関する記述に反映された予想を妥当と考えていますが、投資家の皆様におかれましては、将来予想に関する情報および記述は様々なリスクと不確実性を有し、そうしたリスクや不確実性の多くは予測が困難であり、かつ一般にサノフィ社の権限の及ぶ範囲を超えているために、実際の結果や展開がここに明示、黙示または提示された情報や記述と大きく異なる可能性があることにご注意ください。そのようなリスクや不確実性には、特に、研究開発、市販後調査を含む将来の臨床データ・分析、FDA や EMA 等の薬事規制当局による医薬品、医療機器またはそれら申請製品に関して提出される生物学的応用の承認の可否および時期に関する判断、また申請製品の可用性や販売潜在力に影響を与える可能性のある表示やその他の事柄に関するかかる薬事規制当局による判断、申請製品が承認された場合に商業的に成功する保証の欠如、代替治療製品の今後の承認および商業的成功、サノフィ・グループが外部からの成長の機会から利益を得る能力、為替レートや現行利子率の動向、コスト削減策とそれに伴う変化の影響ならびに平均発行済株式数に内在する不確実性ととも、サノフィ社の 2013 年 12 月 31 日終了事業年度の年次報告書 (フォーム 20-F) の中で「リスク要因」および「将来予想に関する記述に関する注意

事項」として列挙したものを含め、米国証券取引委員会およびフランス金融市場庁への届出においてサノフィ社が論じまたは特定したリスクや不確実性が含まれます。適用法により義務づけられている場合を除き、サノフィ社は、将来予想に関する情報もしくは記述を更新または修正するいかなる義務も負うものではありません。